学校番号	1101

令和８年度　工業（電気）

教科	工業(電気)	科目	電力技術１	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	電力技術１　電力の発生と輸送（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「電力技術１」は電力の発生（水力発電・火力発電・原子力発電などにより作る電気のこと），
および電気関係法規の基礎を理解し，電力施設・設備の運用・保守について習得し、実際に活用する能力と態度を育てます。
「電気基礎」の学習内容との連携をはかり，発電に関する内容などの知識と技術を学習し，発電所の熱効率などの計算問題も正確に解く力を身に付けます。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
工業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
工業に関する課題を発見し，職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
職業人として必要な豊かな人間性を育み，よりよい社会の構築を目指して自ら学び，工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	工業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	よりよい社会の構築をめざして自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	発電	エネルギー資源と電力 水力発電 火力発電 原子力発電	a．エネルギー資源に関心を持ち、その活用法についての学習に取り組むことができる。 b．火力発電の諸設備とその機能について 考察できる。 c．ベルヌーイの定理の関係式を用いた計算ができる。	定期考査 ワークシート	定期考査 提出ノート	行動観察 提出ノート 振り返りシート
後期	電気に関する法規	電気事業法 その他の電気関係法規	a．電気に関する数々の法律上の決まりを，関心をもち意欲的に取り組むことができる。 b．電気配線，器具類などがどの法令に関係しているか考え判断でき，適した法令上の方法を表現できる。 c．法令に準じて，各電気工事・器具などを適切に選択し用いることができる。	定期考査 ワークシート	定期考査 提出ノート	行動観察 提出ノート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度